Ⅱ

最 重 点 施 策

最重点施策

１　明るく健やかな将来を築く

（１）明日の港区を支える子どもの教育環境の整備と子育て支援の充実

学校発パワーアップ計画　(新規)　1,293 万円

区立小・中学校及び幼稚園の魅力を高め、児童・生徒の学力向上及び情操教育の推進を図るため、各学校長及び園長がそれぞれの教育目標を達成するための３～４年計画を策定し事業化する「学校発パワーアップ計画」を創設します。

仮称芝五丁目子育て支援施設整備　(新規)　4 億 2,305 万円

旧芝児童館を活用してショートステイ事業、トワイライトステイ事業、一時預かり事業など、子育てをする家庭へ多様な支援を行う施設を整備します。

・ショートステイ事業
12 歳までの児童を対象として、保護者が仕事や出産、入院などで育児ができないときに６泊７日以内で児童を預かります。

・トワイライトステイ事業
12 歳までの児童を対象として、保護者が残業等で平日の夜間等に育児ができないときに保護者に代わり夕食を提供し、午後 10 時まで児童を預かる事業を新たに実施します。

・一時預かり事業等
保護者の学校行事への参加、リフレッシュなど理由を問わない乳幼児一時預かり事業や、乳幼児の親子が気軽に集える場所の提供、子育て相談、講座等の開催などを行う子育てひろば事業を実施します。

ひとり親家庭への支援の充実　(新規) (レベルアップ)　2,190 万円

・ひとり親（父子）家庭支援助成　（1,263 万円）

父子家庭に対する支援が求められる中、父子家庭で育つ子どもの健全な育成に寄与するため、児童扶養手当と同様の経済的な支援を行います。

・ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業　（597 万円）

これまで月 12 日以内の利用としてきた、ひとり親家庭ホームヘルプサービスの利用を、就業に向けた講座等の受講のために利用する場合の育児援助に限り、月 24 日まで利用ができるよう拡充します。

・ひとり親家庭自立支援給付金事業　（330 万円）

母子家庭の就業をより効果的にするために行っている自立支援教育訓練給付金及び高等技能訓練促進給付金事業の対象を、父子家庭まで拡充します。

小中一貫教育検討　臨時(新規)　396 万円

「教育の港区」を推進するための区立学校のあり方の一つとして、小中一貫教育の実施について検討します。

次世代育成支援対策行動計画　臨時(新規)　707 万円

次代の港区を担う子どもたちの健やかな育ちを支援するため、次世代育成支援対策行動計画の後期（22～26 年度）の計画策定に向けた調査等を行います。

港南四丁目地区公共公益施設等整備　臨時(新規)　臨時(継続)　26 億 6,147 万円

・港南四丁目地区公共公益施設整備　（2,461 万円）

港南四丁目地域における子ども中高生プラザ、保育施設及びコミュニティ施設からなる大型複合施設の整備に係る基本構想及び基本計画を策定します。

・港南小学校・幼稚園改築（予算、事業内容は魅力ある校舎・園舎等の整備参照）

・公共公益施設等整備のための街区再編整備　（26 億 3,686 万円）

港南四丁目地区公共公益施設等を効果的に配置するため、街区の整形と道路の路線変更を行います。20 年度は、東京海洋大学の敷地の一部を取得し、都市計画道路補助 123 号線の直線化工事等を実施します。

麻布地区子ども中高生プラザ建設　臨時(新規)　982 万円

麻布地区に乳幼児から中高生までの幅広いニーズに対応した児童施設として子ども中高生プラザを建設するため、用地の確保の検討とあわせて基本構想を策定します。

芝地区子ども中高生プラザ等建設　臨時(継続)　1 億 679 万円

浜松町一丁目の神明運動広場に、芝地区の子ども中高生プラザと保育園、福祉会館機能を持った保健福祉複合施設を建設するため、基本設計、実施設計等を行います。

高輪地区子ども中高生プラザ建設　臨時(継続)　7,674 万円

高輪一丁目用地に乳幼児から中高生までの幅広いニーズに対応した児童施設として子ども中高生プラザを建設するため、基本設計及び実施設計を行います。

魅力ある校舎・園舎等の整備　(臨時(継続))　31 億 3,414 万円

芝浦小学校・幼稚園、港南小学校・幼稚園、赤羽小学校、三田中学校、高陵中学校、白金台幼稚園、にじのはし幼稚園及び赤坂中学校体育館の改築等を推進します。改築等にあたっては、環境に配慮し、安全で安心な施設にするとともに、多様な学習環境を備える魅力のある学校を整備します。

教育関連複合施設整備　(臨時(継続))　1,685 万円

虎ノ門用地(旧鞆絵小学校跡地)における教育センター等の整備手法について検討します。

私立幼稚園安全安心支援　(臨時(継続))　1,260 万円

私立幼稚園の安全・安心を確保し、園児が安心して過ごせるよう、インターホン、監視カメラ等非常緊急連絡用品や消耗の激しい遊具の取替えなど安全・安心に係る経費等の一部を助成します。

待機児童解消特別事業　(臨時(継続))　5 億 4,054 万円

急増する保育園の入園希望に対応するため、東麻布保育室の運営及び仮称札の辻保育室の整備、運営を行います。

待機家庭支援一時保育　(臨時(継続))　5,973 万円

短時間就労者など認可保育園に入園できない家庭を支援するため、利用者を待機家庭に限定した一時保育事業を実施する事業者に補助します。

奨学資金貸付　(レベルアップ)　8,440 万円

奨学資金貸付について、現行の高校生対象に加え、新たに大学生等を対象とする奨学資金制度を実施します。

私立幼稚園保護者補助金　(レベルアップ)　2 億 8,366 万円

私立幼稚園に通っている保護者の経済的負担を軽減するとともに、公私立幼稚園間の保護者負担の格差を是正するため、私立幼稚園保護者補助金を増額します。

放課後児童育成事業　(レベルアップ)　3 億 66 万円

保護者、地域関係者等と協働しながら、放課後に児童が安心して安全に過ごせる居場所づくりとして実施する放課後児童育成事業を、御成門小学校、三光小学校及び神応小学校の 3 校で新たに実施し、合計 13 校に拡大します。

学校プール開放事業　(レベルアップ)　1億3,642万円

学校屋内プールの開放事業について、港陽中学校で新たに実施し、現在実施している４校（御成門中学校、高松中学校、本村小学校、赤坂小学校）に加え、合計５校に拡大します。

リーディングアドバイザリースタッフ事業　(レベルアップ)　1,829万円

児童生徒の読書に対する興味関心を向上させ、学習活動の支援の充実を図るため、小・中学校におけるリーディングアドバイザリースタッフの配置を、年間30週から35週に拡大します。

特別支援教育の推進　(レベルアップ)　8,047万円

発達障害など特別な支援を必要とする児童・生徒に対し、個々のニーズに応じた適切な教育を行うため、小学校２校、中学校１校において特別支援教室のモデル事業を実施します。また、学習支援員の資質向上を図るため、フォローアップ講座を実施するとともにアドバイザーを設置します。

学力向上のための補助教材等の公費負担　(レベルアップ)　1億2,271万円

区立小・中学校に在籍する児童・生徒の学力及び学習意欲の向上並びに体験学習及び情操教育の推進を図るとともに、保護者の負担を軽減するため、補助教材、学習材料及び検定受検料を、区が負担します。

・補助教材の全額公費負担

児童・生徒の学力及び学習意欲の向上を図るための補助教材を、23区で初めて区が全額負担します。

・学習材料の充実

児童・生徒の体験学習及び情操教育の推進を図るための学習材料をさらに充実し、その費用を区が負担します。

・検定受検料の助成回数の拡大

児童・生徒の学力及び学習意欲のさらなる向上を図るため、漢字、数学及び英語の検定受検料の助成回数を拡大します。

子育てひろば事業　(レベルアップ)　9,160 万円

現在４か所で行っている、乳幼児の親子が気軽に集える場所の提供、子育て相談、講座等の開催などを行う子育てひろば事業を、新たに３か所で実施します。

（実施予定場所）

・麻布十番地域

麻布十番地域には、乳幼児の親子が足を運ぶことのできる乳幼児向けの施設がないことから、民間施設を活用し、子育てひろば事業を行います。

・台場地域

乳幼児の人口が著しく増加している芝浦港南地区の中でも、特に乳幼児の居場所が求められているため、民間施設を活用した子育てひろば事業を行うとともに、台場コミュニティぷらざ内に子育てひろば事業が可能となる場所を整備します。

・仮称芝五丁目子育て支援施設（予算、事業内容は仮称芝五丁目子育て支援施設整備参照）

育児支援家庭訪問事業　(レベルアップ)　755 万円

子ども家庭支援センターにおいて、育児不安を持つ親や養育困難に陥る可能性のある家庭に、児童虐待の予防の観点から、新たに保健師、助産師等による家庭訪問指導を行います。

（２）生涯を通して区民の健康を守る

肝炎ウイルス検診　(新規)　8,191 万円

肝炎ウイルス感染者を早期に発見し治療を促進するため、区が独自に希望するすべての区民を対象に、肝炎ウイルス検診を区内医療機関に委託して実施します。

成人歯科健康診査　(新規)　1 億 3,472 万円

「８０２０（ハチマルニイマル）運動」を推進し、成人期の早期から口腔疾患を効果的に予防するため、歯周疾患予防健康診査を予防重視の観点から成人歯科健康診査として再構築し、対象年齢を 25 歳以上から 20 歳以上に、受診回数を年１回から経過観察を含め年２回に拡大して実施します。

特定健康診査（国民健康保険事業会計）　(新規)　2 億 30 万円

被保険者の健康の維持・増進を図るため、法令に基づき保険者（区）がメタボリックシンドロームに着目した特定健康診査を実施します。区は、独自に特定健康診査の検査項目を拡大し、自己負担金を無料として実施します。

特定保健指導（国民健康保険事業会計）（新規）　1,461 万円

被保険者が望ましい生活習慣を身につけられるよう、特定健康診査の結果に応じて、生活習慣病の改善や見直しのきっかけとなる情報を提供するとともに、対象者に個別にきめ細かく保健指導を行います。区は、独自に自己負担金を無料として実施します。

後期高齢者医療制度（後期高齢者医療会計）（新規）　38 億 6,504 万円

75 歳以上の後期高齢者の心身の特性や生活の実態を踏まえ、高齢者の独立した新たな医療制度が 20 年４月から始まります。

区は、独自に健康診査の検査項目を拡大し、自己負担金を無料として実施するほか、葬祭費の支給、夏季保養施設の開設などの健康保持増進事業を行います。

みなと保健所改築　（臨時(継続)）　1 億 2,825 万円

健康危機管理や保健サービスに対する区民ニーズに迅速かつ的確に対応するため、地域保健の拠点である保健所の組織を再編し機能を強化するとともに、現在の施設が老朽化し、耐震性に対する安全・安心を確保するため、新たな保健所の建設に向けて、基本設計、実施設計等を行います。

妊産婦健康診査　（レベルアップ）　2 億 9,020 万円

妊婦や胎児の健康を守るとともに、安心して健やかな妊娠・出産を迎えることができるよう、妊婦健康診査にかかる費用の助成回数を 14 回に拡大するとともに、健診内容の充実を図ります。

すこやかちゃんフッ素塗布事業　（レベルアップ）　2,278 万円

幼児期からのむし歯予防などの口腔ケアの関心を高めるため、すこやかちゃんフッ素塗布事業の自己負担金を廃止し無料化するとともに、対象を年度内に４歳となる幼児から年度内に４～６歳となる幼児に拡大します。

在宅緩和ケア支援　（レベルアップ）　1,185 万円

在宅緩和ケアの支援に向けて、医療関係者等を委員とする協議会を開催して、19 年度に区が策定した基本的考え方を踏まえた検討を進めるとともに、緩和ケア支援センターの基本計画策定に向けた調査等を行います。

健康教育　（レベルアップ）　357 万円

特定健康診査や特定保健指導の対象となる 40 歳以前から、生活習慣病の予防を推進するため、メタボリックシンドローム対策講座をシリーズで開催します。

（３）都心の特性に配慮した環境対策

省エネルギー活動普及啓発　(新規)　195 万円

地球温暖化防止に向けた省エネルギー対策を推進するため、区民及び中小企業者向けの普及啓発研修会を開催します。

緑のカーテンプロジェクト　(新規)　369 万円

地球温暖化防止とヒートアイランド対策に有効な、つる性植物による区有施設の壁面緑化を行います。つる性植物による遮光と蒸散作用により、温度低減を図るとともに、冷房機器の効率的な使用を図ります。

建築物解体工事におけるアスベスト立入調査　(新規)　788 万円

建築物解体工事の際のアスベスト飛散対策を充実するため、解体工事届出の際、アスベストに関する調査報告書の提出を工事施工者に新たに義務付け、検査を要する物件に対しアスベスト含有検査を実施します。

有栖川宮記念公園自然環境回復プロジェクト　(新規)　471 万円

有栖川宮記念公園の池を浄化し、公園全体の自然と植生を再生するため、区民、大学、ＮＰＯ等と実行委員会を設置し、しゅんせつ等によらない環境にやさしい生物学的手法による浄化に取り組みます。20 年度は、手法の検証を行います。

資源プラスチック回収　(新規)　6 億 7,490 万円

23 区で初めて、20 年 10 月から区内全域で、すべてのプラスチックの資源回収を実施します。また、新たな中間処理施設の一部稼動を受け、20 年４月から大規模集合住宅における回収を先行して実施します。

実効性あるアセスメント制度の検討　(臨時(新規))　740 万円

区の環境アセスメント制度を開始してから 12 年が経過し、区を取り巻く環境も大きく変化しました。現行制度を現在の環境にあったより実効性のある制度とするため、アセスメント審査会委員により、今後の区のアセスメント制度の方向性について検討します。

環境計画の策定　(臨時(新規))　1,676 万円

・環境基本計画等策定　(803 万円)

現行の環境基本計画を策定してから 12 年が経過し、区を取り巻く環境も大きく変化しました。現行計画の計画年度は 22 年度までですが、港区基本計画の策定とあわせ２年前倒しで策定します。また、あわせて環境行動指針及び環境率先実行計画も同様に策定します。

・地球温暖化対策地域推進計画策定　(873 万円)

区における地球温暖化対策を総合的に進めるため、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく「港区地球温暖化対策地域推進計画」を策定します。

高反射率塗料被覆工事助成　(臨時(新規))　1,503 万円

地球温暖化対策及びヒートアイランド対策を推進するため、区内建築物の所有者が温度上昇抑制効果のある高反射率塗料による被覆工事を行う際、区独自に、施工面積 500 ㎡及び 150 万円を限度として費用の１／２を助成します。

自然エネルギー利用促進事業　(レベルアップ)　868 万円

民生家庭部門におけるエネルギー消費量削減を促進するため、一般家庭に対して、これまでの太陽光発電システムに加え、新たに、従来の給湯器を高効率給湯器（※）に交換する際の費用の一部を助成します。

※　空気の熱を利用する二酸化炭素冷媒ヒートポンプ給湯器と、廃熱を再利用する潜熱回収型給湯器を対象とします。

みなと区民の森づくり　(レベルアップ)　1 億 4,135 万円

環境学習の場の整備と森林吸収による二酸化炭素削減のため、区民、事業者及び区の協働による森林整備事業を 19 年度に引き続き進めるとともに、森と里山環境学習、炭焼窯整備・体験、ワサビ田整備、区民農業体験の各事業を新たに実施します。

屋上等緑化助成　(レベルアップ)　2,038 万円

助成対象面積の拡大など助成要件を緩和するとともに、助成上限額及び助成単価を増額します。

保護樹木・樹林助成　(レベルアップ)　522 万円

保護樹木・保護樹林に対する補助金を増額し、緑の保全強化を図ります。

２　都心区ならではの魅力と活力に満ちた地域社会の実現

（１）区民とともに築く地域の魅力の向上

各地区総合支所　地域事業	1 億 9,315 万円

【芝地区総合支所】　**（4,159 万円）**

○一般財源枠充当事業　（2,105 万円）

・芝地区区立芝公園にぎわい推進　（650 万円）

区立芝公園を区民、来訪者が利用してみたいと思うような、にぎわいのある空間とするため、実験的にオープンカフェを設置し、区民にうるおいを提供します。

・芝地区環境と平和を考え地域の交流を深める事業　（500 万円）

環境や平和を歌う音楽活動、農村体験やエコ学習、平和について考える活動を実践し、地域の交流を推進します。

・芝地区防災マップ作成【19 年度継続事業】　（393 万円）

・芝地区芝会議発案事業【19 年度継続事業】　（350 万円）

・芝地区やさしいまちなか【19 年度継続事業】　（212 万円）

○子育て王国基金枠充当事業　（1,954 万円）

・芝地区昭和の地域力再発見　（1,458 万円）

地域の大学・ＮＰＯ等との協働により、地域見守り隊の結成や駄菓子・昔あそび館の設置など子どもの見守り活動を通じて、昭和 30 年代をイメージした人と人とのつながりを新たな形で地域に創造します。

・芝地区都会のふるさと文化の記録　（496 万円）

都会のふるさととしての街並みの形や、人々により伝えられてきた子どもの遊びや子育ての知恵を記録として残すため、調査等を行います。

○高齢者安心定住基金枠充当事業　（100 万円）

・芝地区高齢者向けカレンダー作成　（100 万円）

芝地区の相談連絡先がすぐにわかるように、高齢者向け施設や子育て世帯向け施設の案内を載せたカレンダーを作成します。

【麻布地区総合支所】　（3,249 万円）

○一般財源枠充当事業　（2,856 万円）

・麻布地区福祉会館等施設情報紙の発行　（595 万円）

麻布地区内の福祉会館、児童館、保育園等が、開催するイベントや講座の周知・お誘い、施設の活動内容や利用者の声・様子など、きめ細やかな情報を地域へ発信するための情報紙を年６回発行します。

・麻布地区麻布フェスタ　（690 万円）

地域の安全・安心の取組みを啓発し、麻布地区が安全・安心で楽しめる「まち」であることをアピールするとともに、地域の人々の連帯感を深め、地域の人々がふれあう祭りを、区民と協働で開催します。

・麻布地区麻布ものしり認定制度　（444 万円）

麻布地区の歴史や文化などに詳しい「まち」のコミュニティリーダーを育成し、街歩きガイドや地域の学習会の講師としても活躍してもらえる「麻布ものしりびと」として認定する仕組みを区民・有職者とともに構築します。

・麻布地区外国人にやさしい推進事業　（515 万円）

地域情報紙「ザ・ＡＺＡＢＵ」英語版を作成し、大使館や麻布地区に居住する外国人世帯に配布します。麻布地区の情報を提供することにより、地域への愛着を深めてもらう一助とします。

・麻布地区ねずみ防除啓発【19 年度継続事業】　（137 万円）

・麻布地区コミュニティ形成【19 年度継続事業】　（475 万円）

○子育て王国基金枠充当事業　（393 万円）

・麻布地区おもちゃライブラリー　（36 万円）

西麻布児童館において、子育て支援事業の一環として乳幼児の親子を対象に、良質なおもちゃの提供と普及を目指し、おもちゃの貸出し事業を行います。あわせて、「おもちゃと乳幼児の成長」についての講演等を企画し、保護者への啓発活動を行います。

・麻布地区子育て支援　（317 万円）

子育てに関する施設や子育て相談窓口等の情報を集め、ＮＰＯとの協働により子育て便利帳を作成し、子育て世代を対象に配布します。

・麻布地区小学生児童つり大会　（40 万円）

都心麻布に残るつり堀で小学生つり大会を開催し、地域の小学生が自然とふれあい、地域の子どもたちが交流する場を提供することにより、子どもの健全育成を図ります。

【赤坂地区総合支所】 **（3,671 万円）**

○一般財源枠充当事業　（2,400 万円）

・赤坂地区氷川山車復興支援【19 年度継続事業】　（1,360 万円）

・赤坂地区文化・芸術のまちづくり【19 年度継続事業】　（687 万円）

・赤坂地区魅力ある公園づくり【19 年度継続事業】　（353 万円）

○子育て王国基金枠充当事業　（1,271 万円）

・赤坂地区子育て見守り隊育成支援　（735 万円）

団塊世代を含む高齢者等が、子どもたちに技術や知識などを伝える場を設けることにより、高齢者等の地域参加を促すとともに、子どもたちがすくすく伸びやかに育つ環境を整備します。

・赤坂地区青山文化・伝統芸能体験プログラム　（536 万円）

地域の未来を支える子どもたちが、青山の歴史や文化、日本の伝統芸能を学び、体験する機会を設けることで、郷土に対する愛着や誇りを育みます。

【高輪地区総合支所】 **（3,678 万円）**

○一般財源枠充当事業　（2,580 万円）

・高輪地区さくらリバース高輪　（425 万円）

公園等で長い間区民の目を楽しませ親しまれてきた桜を、今後とも長く区民に提供できるよう樹勢診断調査を行い、各々の桜に適した樹勢回復治療等を実施します。

・高輪地区施設間等地域交流【19 年度継続事業】　（369 万円）

・高輪地区メールによる区民意向調査【19 年度継続事業】　（906 万円）

・高輪地区安全安心地図型掲示板【19 年度継続事業】　（880 万円）

○子育て王国基金枠充当事業　（372 万円）

・高輪地区ウッディランドたかなわ　（372 万円）

施設利用者にやすらぎとぬくもりのある快適な公共空間を提供するため、「木」をテーマとする区有施設の木質化の推進や、間伐材等を活用した事業等を行います。

○高齢者安心定住基金枠充当事業　（726 万円）

・高輪地区健康あっぷ！リング高輪　（726 万円）

高輪地区の公園等に計画的に健康増進器具を配置し、時代にあった公園の機能等の充実、また児童遊園を幅広く活用し、高齢者等の健康増進、介護予防を図ります。

【芝浦港南地区総合支所】　（4,558 万円）

○一般財源枠充当事業　（2,597 万円）

・芝浦港南地区憩いの水辺空間創出【19 年度継続事業】　（900 万円）

・芝浦港南地区水辺フェスタ【19 年度継続事業】　（676 万円）

・芝浦港南地区運河・水辺の魅力アップ【19 年度継続事業】　（824 万円）

・芝浦港南地区地域の課題解決のための検討【19 年度継続事業】　（197 万円）

○子育て王国基金枠充当事業　（1,162 万円）

・芝浦港南地区子育てあんしんプロジェクト　（1,162 万円）

芝浦港南地区の在宅の子育て家庭に対し、地域の児童施設等を活用して、子育ての不安や悩みの解消、地域での仲間づくり及び子育て情報を提供することで、地域の子育て環境を充実します。

○高齢者安心定住基金枠充当事業　（799 万円）

・芝浦港南地区健康・介護予防サポート水中運動　（799 万円）

港南健康福祉館の歩行用プールでの水中運動教室の実施のほかに、インストラクターを常駐することにより、個人の自主的な水中トレーニングをサポートします。また、別途実施する「健康・介護予防サポートトレーニング」（レベルアップ事業）と組み合わせることによって、より一層効果的な健康増進を図ります。

台場コミュニティぷらざ改修　（臨時(新規)）　8,949 万円

台場地域においても、区役所・支所改革に基づき、区民が身近な場所でより多くのサービスを受けられるよう、業務の拡充に向けた分室スペースの拡大を図るとともに、多目的会議室等を整備し、区民のコミュニティ活動等の場を提供するため、台場コミュニティぷらざの改修工事を行います。

基本計画推進事業（地区版計画書作成）　（臨時(継続)）　3,268 万円

分野別基本計画を踏まえ、地区の特性や区民参画組織による提言等を盛り込んだ地区版の計画書を作成します。

（２）魅力あふれる地域経済の活性化

ビジネス展示会・交流会　(新規)　486 万円

区内中小企業の受発注機会の拡大と企業間の情報交換・交流を促進するため、展示会（東京都産業交流展に港区ブースを出展）及び交流会（東京商工会議所港支部との共催、大学・大使館等の参加を予定）を各年１回開催します。

産業デザイン活用支援　(新規)　819 万円

区内中小企業経営者等に対し、質の高い製品やサービスを生産、提供するためのデザイン活用を普及･啓発することにより､区内中小企業の競争力強化とブランド力確立を図ります。また、夏休み期間などに、小・中学生を対象としたデザインワークショップを開催します。

中小企業リフレッシュ出前相談プロジェクト　(新規)　950 万円

事業承継や経営改善などに悩む区内中小企業への相談体制を充実するため、中小企業巡回相談体制を強化するとともに、区内中小企業への訪問調査等を実施し、専門家チームの派遣など新たな出前相談体制について検討します。

産業振興プラン策定　(臨時(継続))　574 万円

区内中小企業の経営の安定と成長を支援するため､20 年度末までの現行の産業振興プランに代わる新・産業振興プランを、新たな港区基本計画の策定にあわせて策定します。

老舗・お薦めの店１００選　(臨時(継続))　250 万円

港区観光協会が、19 年度に選出した 100 店を紹介するパンフレットを活用し、広く周知するためのスタンプラリーを開催する経費を補助します。

港区ものづくり・商業観光フェアの開催　(臨時(継続))　2,508 万円

18 年度に新たにスタートした「港区ものづくり・商業観光フェア」（隔年実施）の第２回を、汐留地下自由通路において開催します。

産業クラスター活動支援　(レベルアップ)　1,324 万円

これまで専門家を派遣してきたミニクラスター（小さな産業集積）や区内で活動している産業クラスターグループに対し、新たに認定マークを付与し活動を支援します。また、認定クラスターが支援期間内に行う新製品・新サービス開発等の活動に対し、新たに費用の一部を補助します。

中小企業人材育成塾　(レベルアップ)　365 万円

区内中小企業の人材育成や従業員のスキルアップを図るため、新入社員研修の充実（60 人→100 人）のほか、新たに情報セキュリティ研修や電子入札システム研修などを実施し、区内中小企業向け研修を充実します。

（３）文化・芸術にあふれたまち

芝浦港南地域及び台場地域における図書サービスの充実　(新規)　3,453 万円

芝浦港南地域及び台場地域における図書サービスの向上を図るため、男女平等参画センター図書室及び台場区民センター図書室において、ＩＣタグを貼付するなど図書館システムに組み込み、相互利用ネットワークを整備します。

ＩＴ図書館の実現　(臨時(継続))　1 億 3,126 万円

自動貸出機及び蔵書資料点検用ハンドスキャナーを導入することにより、利用者の利便性の向上を図るとともに、業務処理の効率化を目指します。

郷土資料の充実　(臨時(継続))　3,407 万円

新郷土資料館の設置に向けて、郷土資料を充実させるため、資料の購入、複製品の製作、古文書の翻刻、デジタルミュージアムのための古地図のデジタル化を進めるとともに、区内の博物館施設との連携を図る港区ミュージアムネットワークを構築します。

音楽普及活動人材育成　(レベルアップ)　820 万円

学校や児童館等での子どもたちを対象とする音楽アウトリーチ活動(芸術などの普及活動)を通じ、地域での音楽アウトリーチ活動を支える人材を育成し、文化・芸術活動の担い手の充実を図ります。

子どもふれあいアート　(レベルアップ)　628 万円

より多くの子どもたちに様々な文化・芸術に触れる機会を提供するため、区立保育園を対象とした文化・芸術の専門家の派遣を区立幼稚園等に拡大します。

（４）外国人とともにつくる地域社会

国際化推進プランの策定　(新規)　883 万円

民間からの人材（管理職）を配置した新しい組織を設置し、外国人とともにつくる地域社会の実現を目指して、国際化推進プランの策定に向けた外国人へのニーズ調査等を実施します。

港区国際交流センター開設準備　(新規)　405 万円

外国人に対する支援や、国際交流に関するネットワークの構築、国際交流活動に対する支援を図るため、その拠点となる港区国際交流センターの 21 年度開設に向け、準備を進めます。

港区国際交流会議　(新規)　391 万円

区内の大使館や国際化関係団体との連携を深めるとともに、外国人の意見を区の外国人施策に反映するための意見聴取の場として、港区国際交流会議を開催します。

外国人モニターによる会議　(新規)　61 万円

外国人と日本人の相互理解を深め、外国人に暮らしやすいまちを実現するため、外国人モニターによる会議を開催し、外国人の意見を区の施策に反映します。

中学生のアメリカ州立大学日本校交流体験支援　(新規)　40 万円

中学２・３年生を対象に、テンプル大学ジャパンキャンパスが実施する国内留学プログラムへの参加を募集し、国際的な環境の中で、英語を使ったコミュニケーションを通じての外国人講師や外国人学生との交流体験を支援します。

異文化体験授業の実施　(新規)　12 万円

区立小・中学校において、テンプル大学ジャパンキャンパスから外国人の学生などを派遣してもらい、様々な民族衣装や食文化に触れる学習などの異文化体験授業を実施します。

外国人に対する広報活動の充実　(新規)(レベルアップ)　7,299 万円

・多言語によるラジオ広報　(567 万円)

区内外国人に向けて、英語・中国語・韓国語・日本語による区のお知らせをインターＦＭラジオで放送します。また、緊急災害時においては、状況に応じた情報を多言語で放送します。

・ホームページ　（4,665 万円）

区のホームページに、新たに中国語と韓国語のホームページを開設し、より多くの外国人に対して区政情報を提供します。

・英字広報紙　（2,067 万円）

新鮮な情報を提供するために編集期間の短縮を行うとともに、英語翻訳の精度を高め、より正確な情報を提供します。

・麻布地区外国人にやさしい推進事業　（予算、事業内容は各総合支所地域事業参照）

３　区民の安全で快適なくらしの創造

（１）高齢者や障害者が安心して暮らせる都心生活の支え

団塊世代応援プラン　（新規）	4,896 万円

・団塊世代ハンドブックの作成　（1,219 万円）

団塊世代の地域参加を促進するとともに、人材活用をすすめるため、地域で行われている活動や、団塊世代向けの催し・講座などの情報を「団塊世代ハンドブック」としてまとめ、団塊世代に働きかけます。

・港区アクティブシニア就業支援センター運営助成　（2,506 万円）

団塊世代の就業ニーズにこたえるため、「港区アクティブシニア就業支援センター」を開設し、就業相談や就業斡旋等を行う事業者に対して運営費を助成します。

・介護予防リーダー養成塾　（513 万円）

団塊世代をはじめとした区民が、介護予防に関する研究成果の学習、必要な技術の実習、地域活動への主体的な参加体験を通じて、介護予防リーダーに必要な技術を学ぶ講座を開催します。

・みなと団塊ネットワークの構築　（658 万円）

団塊世代の情報交換、交流、地域活動、就業支援などを展開するため、地域活動を行っている団体等のネットワークづくりを進めます。

介護予防プロジェクト　（新規）	6,116 万円

高齢者が健康で生きがいを持って生活するための重要な施策である介護予防を、効果的・体系的な事業となるよう介護予防プロジェクトとして総合的に構築します。

・地域包括支援センターへの支援
地域包括支援センターごとに介護予防に関する専門的研修会を実施するなど、地域包括支援センター機能の充実を支援します。

・介護予防活動への区民による主体的な参加促進
介護予防への理解を深めるのに有用な介護予防健診「おたっしゃ２１」を実施します。また、介護予防健診やイベントの開催等を通して、自主グループ活動等の高齢者ネットワークを構築します。

・介護予防事業の評価
介護予防事業が有効であるか、変更すべき点があるかどうかなど、事業評価を実施し、介護サービス提供事業者の育成を行います。また、筋力向上トレーニングなどの介護予防事業参加者が事業に参加したことによる効果を、わかりやすく客観的に判定します。

尿もれ予防教室　(新規)　245 万円

高齢者の尿もれの改善及び尿もれ予防のため、必要な知識や運動等を提供する教室を開催します。

高齢者の地域におけるセーフティネットワークの構築　(新規)　437 万円

高齢者が、住み慣れた地域で孤立することなく安心して生活ができるよう、町会・自治会、民生委員・児童委員、警察・消防など、地域の様々な活動主体を生かして、高齢者の地域におけるセーフティネットワークを構築します。

障害者総合相談窓口の設置　(新規)　744 万円

障害者自立支援法に基づき、障害者やその家族が生活全般にわたって相談することができる専門の相談員による総合的な相談窓口を、障害保健福祉センター内に設置します。

重症心身障害児（者）通所施設の整備　(新規)　4,571 万円

医療的ケアが必要な重症心身障害児（者）の日中活動の場を、区内に確保することを目的とした通所事業を新たに実施するため、「新橋はつらつ太陽」に受入れ体制を整備します。

福祉車両購入費助成　(新規)　150 万円

車椅子利用者の外出を支援するため、身体障害者本人又は親族が福祉車両（車椅子用）を購入する際、30 万円を限度に購入費用の一部を助成します。

地域保健福祉計画等の策定　(臨時(新規))(臨時(継続))　4,981 万円

・地域保健福祉計画策定　(2,207 万円)

19 年度に実施した保健福祉基礎調査の結果を踏まえ、保健・福祉施策の総合的・計画的な推進を図るため、社会福祉法に基づく新たな地域保健福祉計画を策定します。

・高齢者保健福祉計画策定　(1,544 万円)

高齢者保健・福祉の充実のため、老人福祉法に基づく老人福祉計画、介護保険法に基づく介護保険事業計画を一体とした新たな高齢者保健福祉計画を策定します。

・障害者計画・障害福祉計画策定　（1,230 万円）

障害者福祉の向上を図るため、障害者基本法及び障害者自立支援法に基づく新たな障害者計画・障害福祉計画を策定します。

高輪福祉会館等改築　（臨時(継続)）　5 億 2,727 万円

老朽化した高輪福祉会館・保育園・児童館の改築工事を実施します。

特別養護老人ホーム白金の森改修　（臨時(継続)）　8,526 万円

老朽化した特別養護老人ホーム白金の森の改修工事を実施するため、実施設計を行います。

仮称南麻布四丁目高齢者保健福祉施設整備　（臨時(継続)）　18 億 4,027 万円

特別養護老人ホームの入所待機者の解消を目指し、南麻布四丁目に特別養護老人ホーム等の高齢者保健福祉施設を整備する事業者に対し、建設費を補助します。

福祉会館等事業の充実　（レベルアップ）　467 万円

団塊世代をはじめとする区民が、その能力や経験を生かし、地域でのボランティア活動などの担い手として活動するきっかけとなる講座を開催するなど、福祉会館及び健康福祉館事業を充実します。

福祉会館等施設の充実　（レベルアップ）　3,588 万円

福祉会館及び健康福祉館が、より多くの区民にとって利用しやすくなるよう、洗浄機能付トイレ、オストメイトの設置等施設を充実します。

健康・介護予防サポートトレーニング　（レベルアップ）　452 万円

港南健康福祉館のトレーニングルームにインストラクターを配置し、トレーニング機器の使用説明や、利用者の身体程度や目的にあったアドバイスを行います。また、別途実施する「芝浦港南地区健康･介護予防サポート水中運動（地域事業）」と組み合わせることによって、より一層効果的な健康増進を図ります。

高齢者・心身障害者（児）福祉理美容サービス　（レベルアップ）　480 万円

在宅で寝たきり状態にある高齢者及び重度心身障害者（児）に実施している理美容サービスについて、回数を年４回から６回に増やすとともに、自己負担額を 1,000 円から 500 円に引き下げます。

介護保険サービス事業者への支援　(レベルアップ)　3,150 万円

・介護保険サービス第三者評価支援　（361 万円）

介護保険サービス事業者が第三者評価を受けた際の審査費用や評価後の改善取組事業の経費に対する助成上限額を、30 万円から 60 万円に増額します。

・介護サービス事業者振興事業　（1,111 万円）

介護サービス事業者の管理者等に対する研修を充実します。あわせて、新たに介護サービスの適正な利用についてのパンフレットを作成し、区民等への事業者情報の提供についても充実します。

・介護給付適正化（介護保険会計）　（1,678 万円）

介護給付の適正化を促進するため、介護事業者のケアプラン作成の指導及び助言の強化並びに優良事業者を表彰することにより、事業者のレベルアップを図ります。

障害者の社会参加を促進するためのサービス向上事業　(レベルアップ)　1,086 万円

障害者及び介護する家族の社会参加を促進するため、区主催の会合・行事等へ障害者が参加する際に介護者を派遣します。また、視覚障害者用文字文書読上げ装置等を総合支所に配置し、音声による区政情報等の提供を行うなど障害者サービスを充実します。

精神障害者地域生活支援センター事業　(レベルアップ)　4,549 万円

精神障害者の引きこもり防止や社会復帰を目指し、センター内の活動にとどまらず、自宅に出向いて訪問相談を行うなど事業を充実します。

みなと障がい者福祉事業団運営補助　(レベルアップ)　1,874 万円

障害者自立支援法に基づく就労支援事業を実施するなど、自立した運営を目指しＮＰＯ法人となったみなと障がい者福祉事業団が、自主事業として運営している「たんぽぽ新橋店」の改修経費を新たに区が助成することにより、障害者雇用の拡充を支援します。

心身障害児の療育事業　(レベルアップ)　596 万円

障害児のためのおもちゃ貸出し事業、こども療育（パオ）の通園児を対象とした一時保育事業等の実施により、心身障害児療育事業を充実します。

障害者地域自立生活支援事業　(レベルアップ)　5,169 万円

家庭又は公衆浴場などで入浴することが困難な障害者に対し実施している機械入浴サービスを、週１回から２回に増やすなど事業を充実します。

（２）区民を守る安全・安心対策

救急情報の活用支援事業　(新規)　984 万円

高齢者や障害者等が、かかりつけ医・服薬・緊急連絡先など救急措置に必要な情報を容器（救急医療情報キット）に収め、あらかじめ保管しておき、急病等で消防庁（救急車）の救急措置を受ける際、救急隊員が収められている情報を活用し、迅速かつ適切な処理を行えるシステムを消防庁、医療機関等と連携し構築することで、区民の安全・安心を確保します。

共同住宅防犯対策助成　(新規)　546 万円

区内の共同住宅の共用部分の防犯診断（区負担）を実施し、その診断結果に基づき、防犯カメラや侵入防止のためのフェンスの設置等の防犯対策を実施する際、50 万円を上限として防犯対策に係る費用の１／２を助成します。

赤坂地区企業等連携防災行動計画策定　(臨時(新規))　339 万円

赤坂青山地域で社会貢献活動を行っている企業・大学の参加を得て、同地域における災害時の防災行動計画を策定します。

高輪地区白金高輪拠点防災備蓄倉庫の整備　(臨時(新規))　3,217 万円

国土交通省と連携し、国道地下の大空間を大規模防災備蓄倉庫として整備するとともに、高輪地区の防災拠点として活用します。

全国瞬時警報システム（Ｊ－ＡＬＥＲＴ）の整備　(臨時(新規))　1,993 万円

消防庁から人工衛星を用いて送信される津波情報、緊急地震速報など対処に時間的余裕のない事態に対する緊急情報を、防災行政無線により瞬時に区民に伝達するシステムを整備します。

帰宅困難者用パンフレットの作成　(臨時(新規))　399 万円

区内で活動する人々に対し、災害時の行動について記載した帰宅困難者用パンフレットを作成し、事業所防災訓練等で配布します。

マンホールトイレ整備　(臨時(継続))　1 億 2,839 万円

震災時のトイレ対策を推進するため、新たに御成門小学校や六本木中学校など、災害時の避難所となる区立小・中学校（９校）にマンホールトイレを計 90 基整備し、合計 161 基に拡大します。

交通バリアフリー基本構想策定　臨時(継続)　1,410 万円

高齢者や障害者等、誰もが安全・安心、快適に移動ができるバリアフリー空間の形成を図るため、18 年度に策定した「港区交通バリアフリー基本構想」に基づき、３つの重点整備地区（六本木駅周辺、白金高輪駅周辺、田町駅周辺）について区民や関係機関を交えた協議会を設置し、当該地区の基本構想を策定します。

橋りょうの整備　臨時(継続)　1 億 3,279 万円

震災時の橋りょう破損等の被害を最小限に止め、迅速な被災者の避難や救援、復旧活動の経路を確保するため、橋りょうの補強等を行います。20 年度は、芝二・四丁目歩道橋及び楽水橋の補強工事を実施します。また、末広橋及び鹿島橋の補強工事の設計を行います。

夕凪橋架替　臨時(継続)　4 億 3,399 万円

老朽化が進み、耐震性が著しく低い夕凪橋を、区民の安全・安心を確保するため架け替えます。20 年度は、架替工事の詳細設計を行います。また、架替工事着工までの耐久化を図るための補強工事を実施します。

学校の耐震補強　臨時(継続)　6,657 万円

芝小学校及び赤坂中学校の耐震補強工事を行います。

町会等への商店街灯補助金の充実　レベルアップ　6,502 万円

商店街灯の維持費に対する補助金の対象を国道・都道に拡大し、地域の活性化や環境の整備を図ります。

青色回転灯装備車両によるパトロールの強化　レベルアップ　1 億 2,679 万円

子どもの施設や通学路を巡回する昼間のパトロールを青色回転灯装備車両によるパトロールに切り替え、機動力の向上を図るとともに、夜間（深夜）のパトロールの日数等を拡大します。また、車両を白黒塗装とすることにより、犯罪発生の抑止力の向上を図ります。

（３）快適なくらしのためのまちづくり

区民参画によるまちづくりの推進　新規　2,039 万円

区民参画によるまちづくりを推進するため、港区まちづくり条例に基づき、まちづくりの進捗に応じて、活動費に対する助成（上限 600 万円）を行います。

白金高輪駅エスカレーター設置調査　(臨時(新規))　452 万円

地下鉄白金高輪駅 1 番出入口の階段を利用する高齢者等の一層の利便性を考え、エスカレーターの設置の可否を検討するための建物現況等の調査を行います。

札の辻交差点周辺のまちづくり　(臨時(新規))　491 万円

札の辻交差点を中心とした大規模な公有地等を活用し、地域の課題に対応したまちづくりに取り組むため、基本計画策定に向けた基礎調査を行います。

仮称こうなん星の公園自転車駐車場整備　(臨時(新規))　4 億 3,486 万円

品川駅港南口周辺の放置自転車を解消するため、こうなん星の公園の地下に、収容規模約 1,000 台の自転車駐車場を整備します。

公園等の整備　(臨時(継続))　31 億 1,283 万円

・港南公園整備　(8,713 万円)

約 30 年が経過し、施設の老朽化とあわせて、周辺地域の環境の変化にあわなくなった港南公園を、少子高齢化や時代のニーズに配慮した地域の身近な公園に再整備します。20 年度は、港南公園Ｃ面の整備工事を実施します。

・港南緑水公園整備　(28 億 9,295 万円)

17 年度に暫定整備している港南緑水公園（都市計画公園港南公園）の本格整備に向けて、実施設計を行います。また、引き続き用地取得を行います。

・都市計画公園南桜公園整備　(9,671 万円)

都市計画公園南桜公園の拡張工事に向けて、旧桜小学校等の建物解体工事と拡張工事の実施設計を行います。

・白金台四丁目児童遊園整備　(3,604 万円)

施設の老朽化が進み、薄暗い遊び場となっていることから、時代のニーズにあう明るく楽しい児童遊園に再整備するための改修工事を行います。

田町駅東口北地区公共公益施設整備　(臨時(継続))　2 億 9,997 万円

24 年度、田町駅東口北地区に、芝浦港南地区総合支所、文化芸術ホール、介護予防総合センター、保育施設、スポーツセンター等を含む総合的な公共公益施設を開設する予定です。

20 年度は、公共公益施設全体の基本計画を策定するとともに、芝浦港南地区総合支所等の基本設計とスポーツセンターの基本設計及び実施設計を行います。また、文化芸術ホール及び介護予防総合センターの基本計画策定のための基礎調査を行います。

青山通り沿道のまちづくり　(臨時(継続))　500 万円

青山通り沿道（青山一丁目～表参道）の地域特性に配慮した、個性的で魅力的な美しい街並みの保全・形成を図るため、まちづくりの方針、整備手法等について検討します。

住宅基本計画改定　(臨時(継続))　1,234 万円

社会経済状況の変化に伴う住環境の変化、港区まちづくり条例の改正、まちづくりマスタープランの改定などに伴い、19 年度に実施した基礎調査の結果を踏まえ、現行の住宅基本計画（14 年３月策定）を改定します。

景観計画策定　(臨時(継続))　1,479 万円

緑や水辺空間、歴史的建造物や街並みなどの港区固有の景観資源を保全し、良好な景観形成を図るため、景観法に基づく、勧告などの権限を有する「景観行政団体」になることを目指します。20 年度は、景観計画の素案を作成します。

地域交通サービス実施計画策定　(臨時(継続))　887 万円

19 年度に実施した「地域交通サービス向上のための基礎調査」の結果及び取組方針を踏まえ、地域交通サービス実施計画を策定します。

電線類の地中化の推進　(臨時(継続))　5 億 9,796 万円

防災機能の向上や安全な歩行空間の確保、都市景観の改善を図るため、電線類の地中化を推進します。20 年度は、浜松町二丁目・芝五丁目・港南三丁目の面的整備、六本木六丁目（芋洗坂）、六本木七丁目（星条旗通り）の整備に加え、新たに赤坂四丁目の整備のための予備設計を行います。

都市計画道路の整備　(臨時(継続))　68 億 6,904 万円

都市計画道路補助７号線の計画的な用地の取得、仙台坂区間の道路及び電線共同溝の設計等を行います。

水辺の散歩道の整備　(臨時(継続))　2 億 3,603 万円

うるおいと親しみのある緑と水辺の環境をつくるため、橋により分断されている運河沿緑地の連続化を図ります。20 年度は、楽水橋海側の設計及び浜路橋山側の連続化工事等を行います。